

## 「県民健康調査」甲状腺検査 本格検査（検査6回目）実施状況

令和6年3月31日現在

## I 調査概要

## 1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺の状態を把握するための先行検査及び甲状腺の状態を継続して確認するための本格検査（検査2～5回目）に引き続き、本格検査（検査6回目）を実施する。

## 2. 対象者

震災時福島県にお住いの概ね18歳以下であった全県民（平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民）

## 3. 実施期間

令和5年4月から（令和5年度～令和6年度）

## (1) 18歳以下の対象者

令和5年度から令和6年度の2か年で実施

## (2) 19歳以上の対象者

年齢（学年）ごとに実施

令和5年度：平成12～15年度生まれの方

令和6年度：平成16年度生まれの方

## (3) 節目の検査対象者

20歳を超えた方は、5年ごとの節目の検査を実施

令和5年度：平成5年度、10年度生まれの方

令和6年度：平成6年度、11年度生まれの方

なお、報告については別途行う。

## 4. 実施機関（令和6年3月31日現在の協定締結数）

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、対象者の利便性も考慮し、福島県内外の医療機関等と連携して検査を実施している。

## (1) 一次検査

(i) 県内検査実施機関 83 か所

(ii) 県外検査実施機関 147 か所

## (2) 二次検査

(i) 県内検査実施機関 6 か所（福島県立医科大学を含む）

(ii) 県外検査実施機関 40 か所

## 5. 検査方法

## (1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

(i) A判定：(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合

(A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合

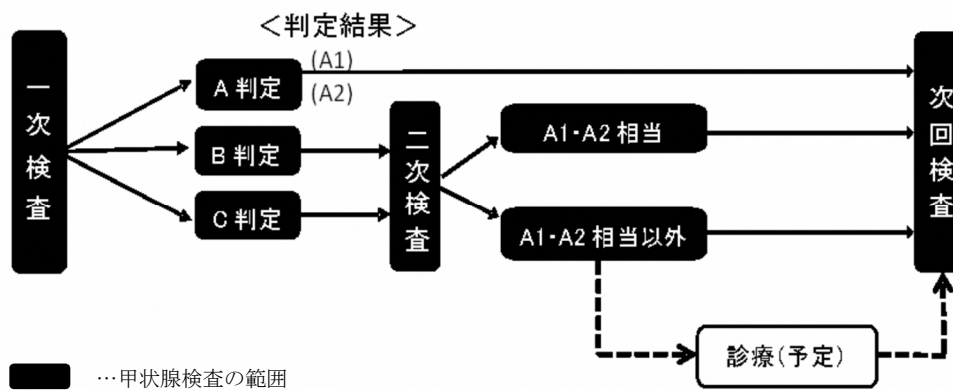
- (ii) B判定：5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合  
A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した場合も含む。
- (iii) C判定：甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合

(2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。  
なお、二次検査の結果、診療（予定）となる方がいる。

(3) 検査の流れ

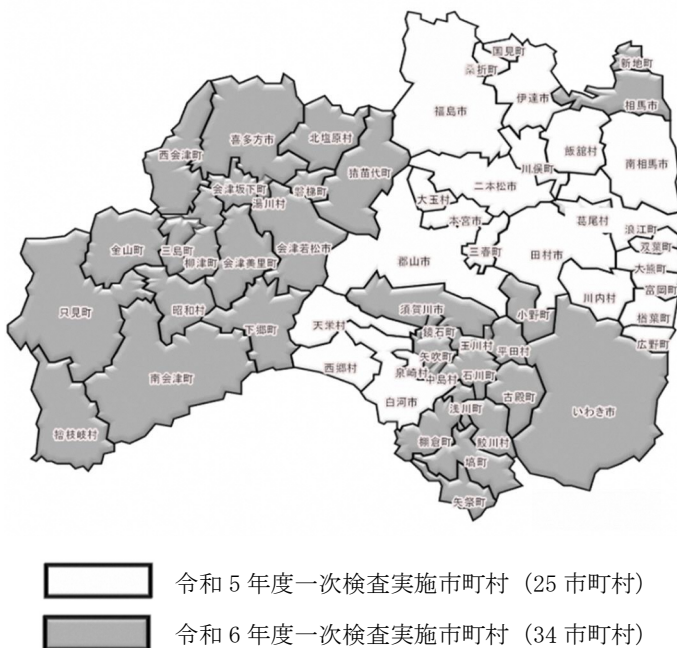
図1.検査の流れ



6. 実施対象年度別市町村

令和5年度～令和6年度の各実施対象市町村は次のとおり。（18歳以下の対象者）

図2. 実施対象年度別市町村



## II 調査結果概要（令和6年3月31日現在）

### 1. 一次検査結果

#### （1）一次検査実施状況

令和6年3月31日までに42,416人（20.0%）の検査を実施した。

そのうち、40,791人（96.2%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送した。

検査結果はA1判定の方が11,087人（27.2%）、A2判定の方が29,122人（71.4%）、B判定の方が582人（1.4%）、C判定の方は0人であった。

表1.一次検査進捗状況

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))				
					A		二次検査対象者		
					A1	エ(エ/ウ)	A2	オ(オ/ウ)	B
令和5年度 (2023年度) 実施対象市町村 計	121,811	38,076 (31.3)	2,623	36,750 (96.5)	9,896 (26.9)	26,378 (71.8)	476 (1.3)	0 (0.0)	
令和6年度 (2024年度) 実施対象市町村 計	90,081	4,340 (4.8)	486	4,041 (93.1)	1,191 (29.5)	2,744 (67.9)	106 (2.6)	0 (0.0)	
合計	211,892	42,416 (20.0)	3,109	40,791 (96.2)	11,087 (27.2)	29,122 (71.4)	582 (1.4)	0 (0.0)	

表2.結節・のう胞の人数・割合(詳細は別表1のとおり)

	結果判定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
令和5年度 (2023年度) 実施対象市町村計	36,750	472 (1.3)	220 (0.6)	4 (0.0)	26,662 (72.5)
令和6年度 (2024年度) 実施対象市町村計	4,041	106 (2.6)	40 (1.0)	0 (0.0)	2,807 (69.5)
合計	40,791	578 (1.4)	260 (0.6)	4 (0.0)	29,469 (72.2)

- ・小数で表示されている数値は、その下の位で四捨五入を行っている。以降の表も同様である。
- ・5年ごとの節目に検査を行う対象者（平成4年度～平成11年度生まれ）を除いている。節目の検査対象者については、別途、計上する。
- ・平成5年度生まれの対象者（約22,000人）及び平成10年度生まれの対象者（約21,000人）は令和5年度、平成6年度生まれの対象者（約22,000人）及び平成11年度生まれの対象者（約20,000人）は令和6年度に検査を実施。

(2) 年齢階級別受診率

各年度4月1日時点の年齢階級別の受診率は表3のとおり。

表3.実施対象市町村における年齢階級別受診率

		計	年齢階級別内訳		
			11歳	12～17歳	18～24歳
令和5年度(2023年度) 実施対象市町村計	年齢階級 注				
	対象者数(人) ア	121,811	8,419	58,637	54,755
	受診者数(人) イ	38,076	4,826	30,789	2,461
	受診率(%) イ/ア	31.3	57.3	52.5	4.5
令和6年度(2024年度) 実施対象市町村計	年齢階級 注			12～17歳	18～24歳
	対象者数(人) ア	90,081		41,641	48,440
	受診者数(人) イ	4,340		2,037	2,303
	受診率(%) イ/ア	4.8		4.9	4.8
合 計	対象者数(人) ア	211,892	8,419	100,278	103,195
	受診者数(人) イ	42,416	4,826	32,826	4,764
	受診率(%) イ/ア	20.0	57.3	32.7	4.6

注 年齢階級は、各年度4月1日時点の年齢。

(3) 本格検査(検査5回目)結果との比較

本格検査(検査6回目)を受診した方の本格検査(検査5回目)結果との比較については表4のとおり。

検査5回目でA判定(A1及びA2判定)と判断された36,556人(\*1の合計)のうち、検査6回目でA判定は36,285人(\*2の合計)で99.3%、B判定は271人(\*3の合計)で0.7%であった。

また、検査5回目でB判定と判断された297人のうち、検査6回目でA判定は61人(\*4の合計)で20.5%、B判定は236人で79.5%であった。

表4.本格検査(検査5回目)結果との比較

		本格検査 (検査5回目)結果 計 注1	本格検査(検査6回目)結果内訳 注2				
			A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)	
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			
本格検査 (検査5回目) 検査結果	A	A1	10,090 *1 (100.0)	7,281 *2 (72.2)	2,760 *2 (27.4)	49 *3 (0.5)	0 (0.0)
		A2	26,466 *1 (100.0)	2,622 *2 (9.9)	23,622 *2 (89.3)	222 *3 (0.8)	0 (0.0)
		B	297 (100.0)	6 *4 (2.0)	55 *4 (18.5)	236 (79.5)	0 (0.0)
		C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
		受診なし	3,938 (100.0)	1,178 (29.9)	2,685 (68.2)	75 (1.9)	0 (0.0)
計		40,791 (100.0)	11,087 (27.2)	29,122 (71.4)	582 (1.4)	0 (0.0)	

注1 上段は検査6回目結果確定者の検査5回目検査結果(人)。検査5回目結果総数の内訳ではない。

注2 上段は検査5回目結果に対する検査6回目の検査結果内訳(人)。下段は割合(%)。

## 2. 二次検査結果

### (1) 二次検査実施状況

令和6年3月31日までに、対象者582人のうち243人(41.8%)が受診し、そのうち171人(70.4%)が二次検査を終了した。

その171人のうち、詳細な検査の結果、14人(A1相当0人とA2相当14人)(8.2%)は、一次検査基準でA1、A2の範囲内であることが確認された(甲状腺に疾病のある方を含む)。157人(91.8%)は、A1・A2相当以外と確認された。

表5.二次検査進捗状況

	対象者数 (人)	受診者数(人) 受診率 (%)	結果確定数(人)				
			確定率 (%)	A1相当	A2相当	A1-A2相当以外	
						ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)
ア	イ(イ/ア)	ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)	オ(オ/ウ)	カ(カ/ウ)	キ(キ/カ)	
令和5年度 (2023年度) 実施対象市町村計	476	203 (42.6)	144 (70.9)	0 (0.0)	14 (9.7)	130 (90.3)	6 (4.6)
令和6年度 (2024年度) 実施対象市町村計	106	40 (37.7)	27 (67.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	27 (100.0)	1 (3.7)
合計	582	243 (41.8)	171 (70.4)	0 (0.0)	14 (8.2)	157 (91.8)	7 (4.5)

### (2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を実施した方のうち、6人が悪性ないし悪性疑いの判定となった。

6人の性別は男性2人、女性4人であった。

表6.細胞診結果(平均年齢と平均腫瘍径の( )内は範囲を示す)

本格検査(検査6回目)検査対象者	
・悪性ないし悪性疑い	6人
・男性：女性	2人：4人
・平均年齢	17.2±3.7歳(12-21歳)、震災当時4.5±3.6歳(0-9歳)
・平均腫瘍径	14.8±2.6mm(11.3-18.6mm)

### 3. こころのケア・サポート

検査対象者へのこころのケア・サポートとして、次の取組を行っている。

#### (1) 一次検査のサポートについて

甲状腺検査対象者に対して、公共施設等の一般会場では、検査結果説明ブースにおいて、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら結果の説明を行った。

令和5年4月以降、令和6年3月31日現在で、全会場で検査結果説明ブースを設置し、受診者917人のうち917人（100％）が利用した。

#### (2) 出張説明会・出前授業について

検査対象者や保護者に対して甲状腺検査の理解を深めるため、出張説明会や出前授業を実施した。

令和5年4月以降、令和6年3月31日現在で、7か所（小学校5校、中学校1校、高等学校1校）で231人に対して説明等を行った。

なお、延べ人数は15,924人となっている。

#### (3) 二次検査のサポートについて

福島県立医科大学内にサポートチームを立ち上げ、二次検査対象者に対して、心配や不安へのこころのケア・サポートを行い、その他WEB相談による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、本格検査（検査6回目）開始以降、令和6年3月31日現在で、126人のサポートをしており、性別は男性48人、女性78人であった。この方々に延べ178回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時126回（70.8％）、2回目以降受診時52回（29.2％）であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、継続して支援を行っている。

別表 1

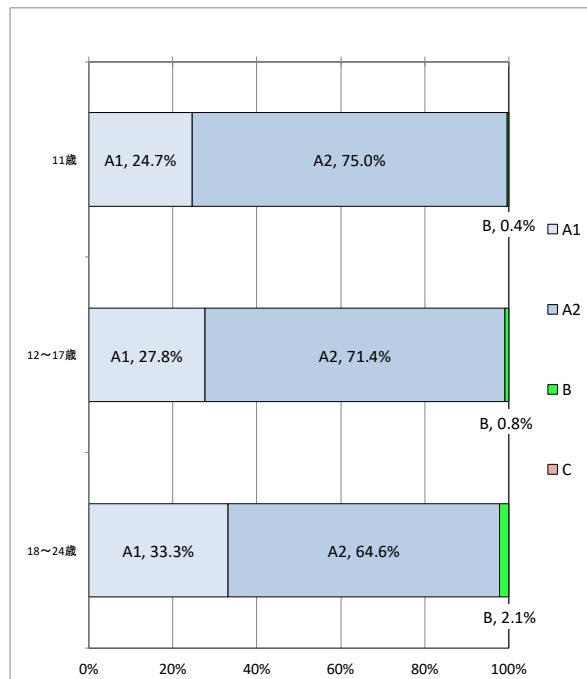
1 検査結果判定者の年齢及び性別

(単位 人)

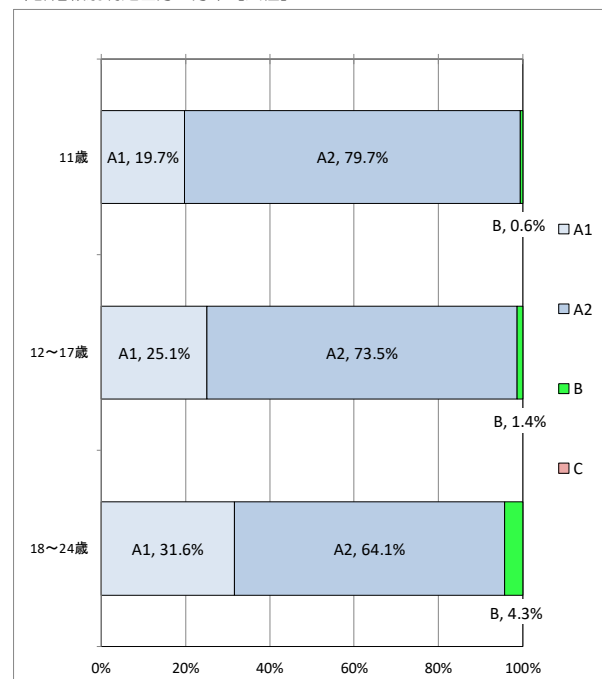
令和 6 年 3 月 31 日現在

判定・性別 年齢階級	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
11歳	274	201	475	832	812	1,644	4	6	10	0	0	0	1,110	1,019	2,129
12～17歳	4,584	3,953	8,537	11,783	11,561	23,344	138	219	357	0	0	0	16,505	15,733	32,238
18～24歳	936	1,139	2,075	1,819	2,315	4,134	59	156	215	0	0	0	2,814	3,610	6,424
合計	5,794	5,293	11,087	14,434	14,688	29,122	201	381	582	0	0	0	20,429	20,362	40,791

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

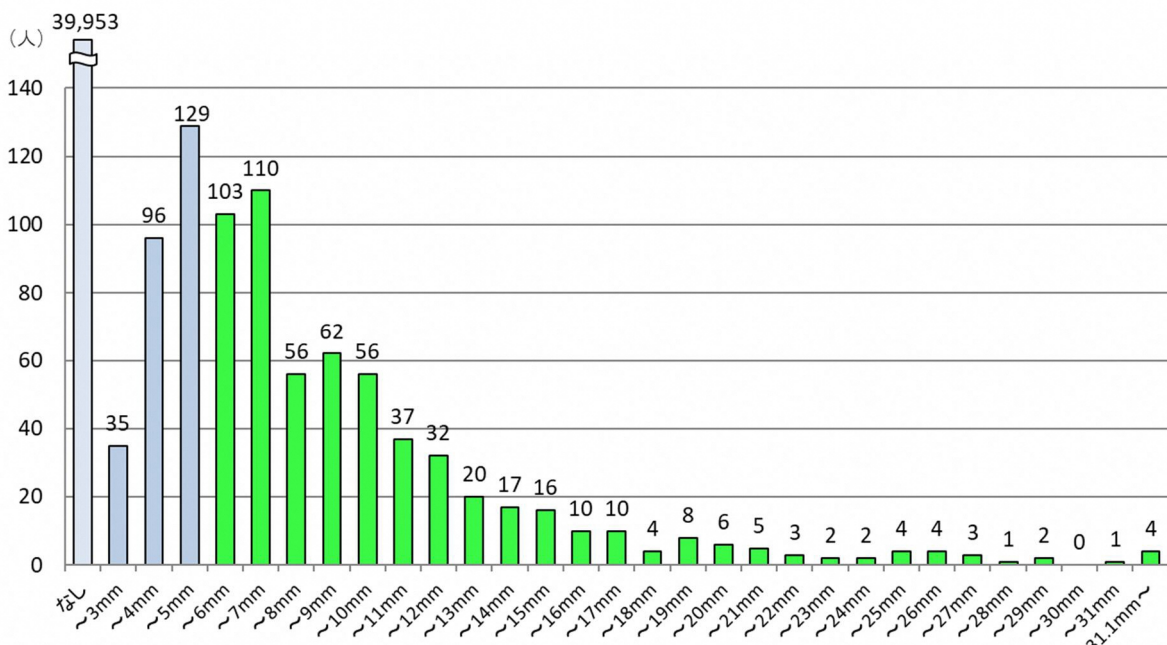
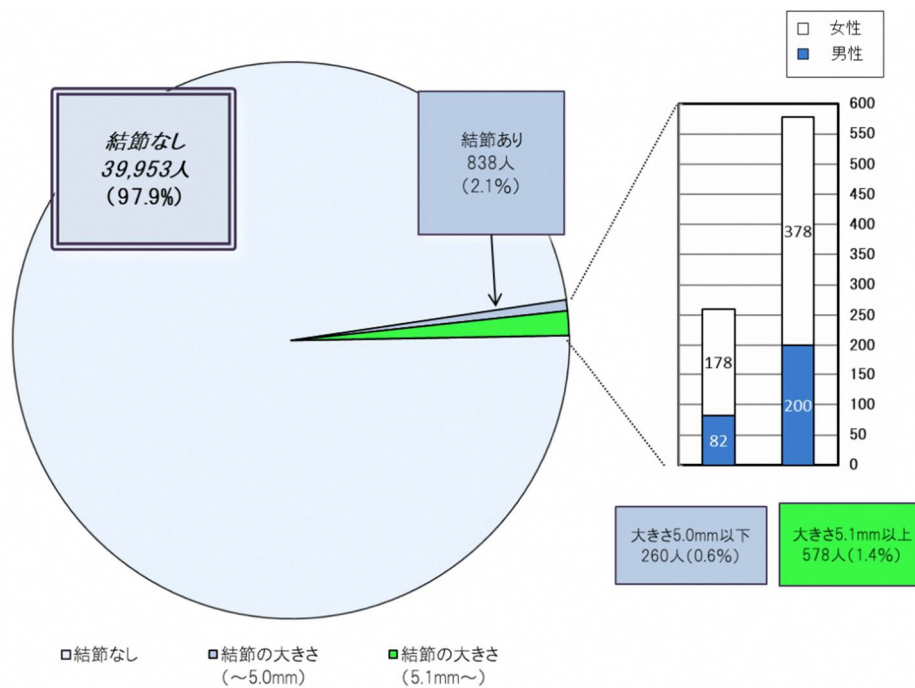


## 2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

令和6年3月31日現在

結節の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	39,953	20,147	A1	97.9%
~3.0mm	35	12	A2	0.6%
3.1~5.0mm	225	70		
5.1~10.0mm	387	146	B	1.4%
10.1~15.0mm	122	33		
15.1~20.0mm	38	12		
20.1~25.0mm	16	5		
25.1mm~	15	4		
計	40,791	20,429	20,362	





3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

令和6年3月31日現在

のう胞の有無・大きさ	全体	判定区分		割合	
		男性	女性		
なし	11,318	5,885	5,433	A1	63.4%
～3.0mm	14,545	7,846	6,699		
3.1～5.0mm	12,439	5,810	6,629	A2	36.6%
5.1～10.0mm	2,432	874	1,558		
10.1～15.0mm	48	12	36		
15.1～20.0mm	5	1	4		
20.1～25.0mm	3	1	2	B	0.01%
25.1mm～	1	0	1		
計	40,791	20,429	20,362		

